

心を迷わせるもの

シリーズ～預言者の声～

2022/2/20

先週のおさらいクイズ

問)ダビデ王の大罪とは？

答)家臣ウリヤの妻を奪い彼を殺したこと

問)ダビデ王の罪を指摘した預言者は？

答)ナタン

問)非道な男のたとえ話を聞いてダビデは何と言いましたか？

答)「そんなことをした男は死罪だ」

問)ダビデ王が詠んだ悔い改めの歌とは？

答)詩編51篇

ソロモン王の即位

- 父ダビデの遺言

- 「あなたの神、主の務めを守ってその道を歩み、モーセの律法に記されているとおり、主の掟と戒めと法と定めを守れ。」(列王記上2:3)

- 即位を感謝する献げ物

- 「ソロモンは主を愛し、父ダビデの授けた掟に従って歩んだ…ソロモンはその祭壇に一千頭もの焼き尽くす献げ物をささげた。」(3:3,4)

- 主なる神からのオファー

- 「その夜、主はギブオンでソロモンの夢枕に立ち、『何事でも願うがよい。あなたに与えよう』と言われた。」(3:5) >

皆さんなら何を願いますか？

ソロモンに与えられたもの

• ソロモンの答え

- 「どうか、あなたの民を正しく裁き、善と悪を判断することができるように、この僕に聞き分ける心をお与えください。そうでなければ、この数多いあなたの民を裁くことが、誰にできましょう。」3:9

• 主なる神からのギフト

- 神はこう言われた。「あなたは自分のために長寿を求めず、富を求めず、また敵の命も求めることなく、訴えを正しく聞き分ける知恵を求めた。見よ、わたしはあなたの言葉に従って、今あなたに知恵に満ちた賢明な心を与える。あなたの先にも後にもあなたに並ぶ者はいない。わたしはまた、あなたの求めなかったもの、富と栄光も与える。生涯にわたってあなたと肩を並べる王は一人もいない。」3:11-13

ソロモンに与えられたもの

• ソロモンの答え

- 「どうか、あなたの民を正しく裁き、善と悪を判断することができるように、この僕に聞き分ける心をお与えください。そうでなければ、この数多いあなたの民を裁くことが、誰にできましょう。」3:9

• 主なる神からのギフト

- 神はこう言われた。「神から託された民を正しく治めるための知恵を求めた自分のためではない！」
求めず、富を求めず、訴えを正しく聞き分ける。神はあなたの言葉に従う民に賢明な心を与える。あなたの先にも後にもあなたに並ぶ者はいない。わたしはまた、あなたの求めなかったもの、富と栄光も与える。生涯にわたってあなたと肩を並べる王は一人もいない。」3:11-13

ソロモンの繁栄

- 知恵(3:16～28)

- 子どもを失った二人の遊女を裁く
- 「ソロモンの知恵は東方のどの人の知恵にも、エジプトのいかなる知恵にもまさった。」5:10

- 統治

- 「ソロモンは、ユーフラテス川からペリシテ人の地方、更にエジプトとの国境に至るまで、すべての国を支配した。国々はソロモンの在世中、貢ぎ物を納めて彼に服従した。」5:1
- 「ユダとイスラエルの人々は海辺の砂のように数が多かった。彼らは飲み食いして楽しんでいた。」4:20

ソロモンの繁栄

- 経済的豊かさ

- 「ソロモン王の杯はすべて金、「レバノンの森の家」の器もすべて純金で出来ていた。銀製のものはなかった。ソロモンの時代には、銀は値打ちのないものと見なされていた。」10:21

- シェバの女王の驚き

- 女王は王に言った。「わたしが国で、あなたの御事績とあなたのお知恵について聞いていたことは、本当のことでした。…しかし、わたしに知らされていたことはその半分にも及ばず、お知恵と富はうわさに聞いていたことをはるかに超えています。」10:6-7

神殿奉献

- 父ダビデの念願だった事業

- 契約の箱を安置するための神殿建築
- 「このように、彼は神殿全体をその隅々まで金で覆い、内陣にある祭壇もすべて金で覆った。…その建築には七年を要した。」6:22,28

- 神殿奉献式でのソロモンの祈り

- 「神は果たして地上にお住まいになるでしょうか。天も、天の天もあなたをお納めすることができません。わたしが建てたこの神殿など、なおふさわしくありません。」8:27

列王記上11章1～13節

ソロモン王はファラオの娘のほかにもモアブ人、アンモン人、エドム人、シドン人、ヘト人など多くの外国の女を愛した。これらの諸国の民については、主がかつてイスラエルの人々に、「あなたたちは彼らの中に入れて行ってはならない。彼らをあなたたちの中に入れてはならない。彼らは必ずあなたたちの心を迷わせ、彼らの神々に向かわせる」と仰せになったが、ソロモンは彼女たちを愛してそのとりことなった。彼には妻たち、すなわち七百人の王妃と三百人の側室がいた。この妻たちが彼の心を迷わせた。ソロモンが老境に入ったとき、彼女たちは王の心を迷わせ、他の神々に向かわせた。

こうして彼の心は、父ダビデの心とは異なり、自分の神、主と一つではなかった。ソロモンは、シドン人の女神アシュトレト、アンモン人の憎むべき神ミルコムに従った。ソロモンは主の目に悪とされることを行い、父ダビデのように主に従い通さなかった。そのころ、ソロモンは、モアブ人の憎むべき神ケモシュのために、エルサレムの東の山に聖なる高台を築いた。アンモン人の憎むべき神モレクのためにもそうした。また、外国生まれの妻たちすべてのためにも同様に行ったので、彼女らは、自分たちの神々に香をたき、いけにえをささげた。ソロモンの心は迷い、イスラエルの神、主から離れたので、主は彼に対してお怒りになった。

主は二度も彼に現れ、他の神々に従ってはならないと戒められたが、ソロモンは主の戒めを守らなかった。そこで、主は仰せになった。「あなたがこのようにふるまい、わたしがあなたに授けた契約と掟を守らなかったゆえに、わたしはあなたから王国を裂いて取り上げ、あなたの家臣に渡す。あなたが生きている間は父ダビデのゆえにそうしないでおくが、あなたの息子の時代にはその手から王国を裂いて取り上げる。ただし、王国全部を裂いて取り上げることはしない。わが僕ダビデのゆえに、わたしが選んだ都エルサレムのゆえに、あなたの息子に一つの部族を与える。」

ソロモンの大罪

- 世界中から贈られてきた多くの女性たち
 - 「七百人の王妃と三百人の側室」併せて千人！
 - 世界中の国々から絶世の美女が贈られてきた
 - 一緒に持ち込まれた神々
- 主なる神は警告しておられた
 - 「彼らをあなたたちの中に入れてはならない。彼らは必ずあなたたちの心を迷わせ、彼らの神々に向かわせる」
- 年老いて判断力が鈍ったか？
 - 「ソロモンが老境に入ったとき、彼女たちは王の心を迷わせ、他の神々に向かわせた。」

王国分裂

- 主なる神への裏切り

- 「こうして彼の心は、父ダビデの心とは異なり、自分の神、主と一つではなかった。」

- 主からの直接の戒め

- 「主は二度も彼に現れ、他の神々に従ってはならないと戒められたが、ソロモンは主の戒めを守らなかった。」11:9-10

- 下された厳しい罰

- 「わたしはあなたから王国を裂いて取り上げ、あなたの家臣に渡す。…ただし、王国全部を裂いて取り上げることはしない。わが僕ダビデのゆえに、わたしが選んだ都エルサレムのゆえに、あなたの息子に一つの部族を与える。」

なぜソロモンはつまずいたのか

- 若い頃は主に忠実で謙遜であった
 - 「ソロモンは主を愛し、父ダビデの授けた掟に従って歩んだ」
- 何がソロモンを変えたのか
 - 安寧・富・知恵・名声・異性の誘惑・（高齡）
 - 高慢かつ傲慢にする要素がそろっている
- 悔い改めなかったソロモン
 - 主が二度も直接戒められたのに、彼は自らの愚行を改めようとしなかった

なぜソロモンはつまずいたのか

- 若い頃は主に忠実で謙遜であった
 - 「ソロモンは主を愛し、父ダビデの授けた掟に従って歩んだ」
- 何がソロモンを変えたのか
 - 安寧・富・知恵・名声・異性の誘
 - 高慢かつ傲慢にする要素がそ
- 悔い改めなかったソロモン
 - 主が二度も直接戒められたのに、彼は自らの愚行を改めようとしなかった

父ダビデとの
決定的な違い

王国は二つに分裂し、長い異教
(偶像)との戦いが始まった

富

知恵

名声

誘惑

高齡

安寧

ソロモン状態



```
graph TD; A[富] --- B[知恵]; B --- C[名声]; C --- D[誘惑]; D --- E[高齡]; E --- F[安寧]; F --- A;
```


あなたがたを襲った試練(誘惑)で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練(誘惑)に遭わせることはなさらず、試練(誘惑)と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。

(コリントー 10:13)